

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	2 子どもの教育の充実
施策	④ 教育の質の向上 ⑤ 教育環境の充実 ⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実

未来の加西の姿

自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
④ (ア～エ) 評価シート 14～17	<p>■特色ある学習活動 SDG s等に関する課題学習を取り入れた外国語教育については十分な広がりを見せていない。部活動指導員については、全中学校区で運用を実現することができた。</p> <p>■小・中学校の連携強化 中学校からの乗り入れ授業、中学校での授業体験により、中1ギャップの軽減につなげている。</p> <p>■ICT教育の推進 授業においてGIGAスクール端末を活用する場面は増加している。デジタル教科書への意向を見据え、研究・研修が必要である。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>	<p>・ICT教育については、先生が熱心に取り組まれている。</p> <p>・GIGAスクール端末（クロームブック）についても、不登校の対応に活用できるなど、学習面だけでなく+aの効果も生まれている。</p> <p>・クロームブックの活用については、学校や先生の間で差が大きいのと思う。平準化を図ってほしい。</p> <p>・市内に在住していた外国籍の生徒が、本国に帰国した後に、オンラインで授業に参加できた例もあり、予想外の広がりがある。</p> <p>・教育の質向上に向け、引き続き、熱心な取り組みを期待したい。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
⑤ (ア～イ) 評価シート 18～20	<p>■教育環境の整備 富田小学校体育館、宇仁小学校体育館の改修を実施した。</p> <p>■小・中学校のあり方の検討 市長と教育委員が協議を行う、「総合教育会議」を開催し、学校のあり方について意見交換を行うとともに、「未来の学校構想検討委員会」を教育委員会とともに運営し、素案について多様な関係者からの意見を聴取できるようにアンケートの設計を行った。</p> <p>「未来の学校構想検討委員会」では、中学校再編と小学校の学園構想を柱とする素案を発表し、連合PTA、教職員等へのアンケート調査の説明を行った。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	<p>・未来の学校構想検討委員会では、活発な議論が出来たように思う。</p> <p>・委員として参加していたが、自分の感じたことをたくさん話させてもらった。よい形になるように頑張ってもらいたい。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>
⑥ (ア～ウ) 評価シート 21～23	<p>■いじめ・不登校対策 令和3年度よりスクールソーシャルワーカーを1名増員し2名体制とした。学校との連携や家庭訪問、相談等について、令和2年度よりも対応を強化することができた。</p> <p>■地域全体での学校支援 ゲストティーチャーの活用や学校評議員会の実施など、目標には到達しなかったが、一定の成果を収めることが出来た。</p> <p>■地域連携のもと、子どもの学習支援・体験活動の推進に取り組む 事業実施校区における体験や学習を通して、地域の方々や家族とのふれあいを深め、地域の良さを発見することができた。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>・不登校の生徒数が多くなっているが、積極的な支援を実施していると評価する。</p> <p>・加東市では生徒同士の意見交換会をしていたが、加西市でもそのような場を作ってみてはどうか。</p> <p>・いじめや不登校対策として、学校に調整役になれる人物を配置してほしい。</p> <p>・いじめだけでなく不登校やひきこもりもある。子どもの心を開くことは難しい。適応教室に來られない子どもも多い。</p> <p>・不登校は全て事情が異なっているので対応が難しい。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
全国学力・学習状況調査において全国平均点を上回った教科数	目標		—	—	—	—	3	教科	単年
	実績	1	3						
	達成度		100%						
※全国学力・学習状況調査による小学生（国語・算数）、中学生（国語・数学）の4教科のうち、全国平均点を上回った教科数									
児童・生徒用PCの使用率	目標		—	—	—	—	100	%	単年
	実績	0	49.29						
	達成度		49.3%						

※ 1年間に個人用PCを使用した延児童・生徒数 ÷ (5/1現在の児童・生徒数 × 登校日数)

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり
施策	⑦ 生涯学習の充実 ⑧ 芸術・スポーツの振興 ⑨ 健康増進の推進

未来の加西の姿

生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑦ (ア～イ) 評価シート 24～25	<ul style="list-style-type: none"> ■公民館を中心とした学習機会の充実 通年開催の連続講座36講座（394回）、子ども・親子講座など単発講座9講座（13回）を開催した。シニアカレッジ「かしの木学園」受講生は年々増加している。市民教養講座ではデジタルデバイス解消を目的として「初めてのスマホ講座」等も実施した。 ■図書館サービスの拡充 定期的なおはなし会（295名）、えほんのひろば（142名）、映画会（1,112名）を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動が高齢化しており、新しく始める人がいないため、新たな工夫が必要。 ・子ども用の講座をもっと増やしてもらいたい。何らかの障害を抱えている子どもでも参加しやすい講座が増えると嬉しい。 ・公民館活動でも身近にSTEAMを感じられるものを実施してもらいたい。 ・公民館活動に限らず高齢化している状況の中で、市民の意識も変化しているので、その変化に合わせた事業展開を期待する。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑧ (ア～エ) 評価シート 26～29	<ul style="list-style-type: none"> ■芸術文化を感じられる環境づくり、スポーツ・レクリエーション活動推進 プロスポーツチームや連携大学によるスポーツ教室等を開催できた。 ■総合体育館の整備や既存施設の改修 市民会館では、自主事業を計画し全事業を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため体育施設の利用者数は目標に達していないが、前年度比においては114%と増加している。 ■地域に密着して活動するスポーツ団体・芸術団体支援 ■郷土愛の醸成と伝統の継承 こども狂言塾は、新規入塾者が5名あったが、卒業生との比率ではマイナスとなった。風土記講座については、目標は達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が活動の後押しをしてくれているように感じる。非常にありがたい。 ・高齢化が進んでいて、競技人口や指導者も減少している。加西市出身のアスリートを指導者として招き、競技人口の増加や指導者育成を行うことで新たなアスリートが生まれるような循環の流れを期待する。 ・市内に体育施設を整備してもらいたい。 ・狂言は非常に良かったが、敷居が高く、もともと子どもが気軽にできる感じにしてもらいたい。加西能・狂言は子どもの観客が少ないので、子ども優先席を作るなど考えてはどうか。 ・スポーツ団体、芸術団体支援については、新しい団体への補助を積極的に実施してもらいたい。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑨ (ア～エ) 評価シート 30～35	<ul style="list-style-type: none"> ■こころの健康についての支援体制 電話、対面相談を実施。ゲートキーパー研修を実施した。 ■歩いて暮らす健康づくりのための拠点整備や環境の整備 運動ポイント事業は、順調に参加者を増やしている。運動教室は、利用者数を大きく減らす結果となった。 ■各種検診への受診率向上 がん検診無料クーポン券を配布。未利用者への受診勧奨を行った。また特定検診未受診者については、戸別訪問や国保ヘルスアップ支援事業を活用し、積極的な受診勧奨を行った。 ■セミナー開催等による食育・健康教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動ポイント事業については、活動を活性化させる取り組みをしてもらいたい。例えば、子連れでも参加しやすいように、託児ができるスペースを併設することなどできないか。 ・土曜チャレンジのような子どもが様々な体験ができる場を作ってもらいたい。
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市立図書館の来館者数	目標		—	—	—	—	22	万人	単年
	実績	21	17.4						
	達成度		79%						
※公共図書館調査による年間来館者数									
文化・スポーツ活動の参加者数	目標		—	—	—	—	270	千人	単年
	実績	188	141						
	達成度		52.2%						
※体育施設・市民会館・公民館の年間利用者									

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	5 農業の再生と活性化
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実

未来の加西の姿

加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑬ (ア～イ) 評価シート 45～46	<p>■生産者を対象とした経営の指導等 地元ブランド品開発については、12件の申請があり、補助を行った。商品開発やパッケージデザインの経費に補助した結果、令和4年4月オープンでのsoraかさいで販売する商品が誕生した。</p> <p>■新規就農者支援 新たに青年等就農計画を認定した農業者は5名。今年度から農業次世代人材投資資金の交付対象者となった者も5名いる。1年間研修に行き、就農を目指していた者が多く、今年は多く就農した。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>・獣害対策として、地域が専門家から指導を受けられる講習会の開催は良い取組である。</p> <p>・地元ブランド品の開発は、単なる土産品の開発ではなく、農業の再生と活性化に直結する取組としてほしい。また、令和3年度は交付金を活用したのだが、単年度のみで事業とせず今後の継続が課題である。</p> <p>・農業者に対する補助制度は、新規就農者の事業開始時の設備投資等の支援に限らず、事業を継続していくためのフォローアップの補助制度が大切なので制度化を検討してほしい。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
⑭ (ア～ウ) 評価シート 47～49	<p>■農業経営の持続可能性を確保する支援 営農組合や認定農業者に対して、機械等の購入の一部補助を実施した。県事業の農業経営スマート化促進事業では、雇用等の拡大を目指す取り組みに支援した。</p> <p>■農業の所得拡大、地元農産のブランディング 特産品開発や集落営農組織の資質向上の為に、各協議会等に支援を行った。ぶどうの生産継続に向けて、棚の改修新設やベリーAや大粒系品種への改植を進める為に苗木の購入補助を行った。</p> <p>■地産地消や食育の推進 神戸大食資源センターや播磨農高の学生が栽培した野菜や愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	<p>・農地活用率を上げていく計画なのに初年度からいきなり下回っている点は、しっかりと検証して取組を進めていく必要がある。</p> <p>・新規就農者支援事業によって、若手就農者が増えるなど取組の成果が見られるが、加西ゴールデンベリーAに続く大粒系品種のぶどうのブランド化をJ Aと協力し、行政が主体となって進めてほしい。</p> <p>・地産地消を推進するためにはロットと規格化が課題であり、低温倉庫などの設備投資を積極的に行うべきである。</p> <p>・学校での地産地消のKPIが低めに設定されているので、積極的な目標値への見直しを検討されるとともに、将来は市内の病院や飲食店にも取組が波及することを期待したい。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>
⑮ (ア～ウ) 評価シート 50～52	<p>■スマート農業等、新たな農業の推進 施設園芸設備整備支援事業により、作業効率化に資する取組を支援した。また、県予算を活用して、環境制御技術の導入を図り、作業効率を向上させ、農業者労働時間の軽減を支援した。</p> <p>■生物多様性等環境に配慮した生産の推進 水稲作付で有機資材である堆肥の散布や中干の期間を短くしてオタマジャクシなど水生昆虫の生育を助け、また温暖化ガスであるメタンガスの発生抑制などに取組環境にやさしい農業に取り組む農家の支援を行った。</p> <p>■安定した農業経営を実現するための有害鳥獣対策の強化</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	<p>・ICT技術の導入費用は高額であるため、スマート農業を見える化するためにも施設園芸に特化せずモデル事業への補助制度の拡充をお願いしたい。</p> <p>・地産地消、ブランド品の開発を含めた大きなスケールでの循環型農業の整備を進めてほしい。</p> <p>・生物多様性等環境づくりには堆肥の活用などの循環型の仕組みが必要のため、酪農家の誘致も重要である。</p> <p>・防護柵の設置に関しては、高齢化によって実施したくてもできない地域もあるので、材料費の補助のみならず作業費に対する補助を検討するなど早急な対応が必要である。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積	目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
	実績	1,215	1,255						
	達成度		89.6%						
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積									
農地の活用率	目標		—	—	—	—	91	%	単年
	実績	89	87						
	達成度		95.6%						
※作付面積：農地面積									

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	8 安全・安心に暮らせる環境の充実
施策	㉒ 防災・感染症対策の充実 ㉓ 防犯・交通安全の向上 ㉔ 市民相談・消費者保護の充実

未来の加西の姿

地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉒ (ア～ウ) 評価シート 77～80	■防災体制の強化 防災ネットにより、昨年度は火災情報、外国語自動翻訳を含めて241件のメール配信を行っている。要援護者台帳の更新については、新規追加調査を行ったことから台帳登載者が増加した。 ■地域防災力の向上 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種訓練の実施回数が減少している。資機材整備費は、例年増加傾向にある。 ■新型コロナウイルス感染症に係る患者受入、入院受入態勢の確保 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を行った。地域の感染状況に対応するため、患者の受入れ病床を増床し対応した。また、5月以降、新型コロナワクチンの集団接種及び個別接種を実施した。	・要援護者台帳の登載率が伸びない理由は、近くに親族がいたり、人に迷惑をかけたくない等の理由からだが、さらに呼びかけを行い、登載者を増やすことが必要である。 ・避難場所の周知や情報提供を継続して実施いただきたい。 ・防災ネットのメール配信に加えて、LINEによる配信ができないか。 ・災害に備えるための他市との情報交換や情報共有が必要ではないか。 ・防災対策として、市と関係団体（社協等）との連携強化が必要。
総合評価	A・・・目標を大きく上回って達成	総合評価 B・・・ほぼ目標を達成
㉓ (ア～イ) 評価シート 81～83	■地域と連携した見守り体制の強化による、安全安心な地域づくり 防犯灯については、設置要望箇所については設置を完了した。防犯カメラ設置事業については自治会からの要望が多いため、引き続き補助事業を継続する。 主要道への照明器具増設については、目標に達していない。 ■交通事故のないまちを目指して 令和3年度については、加西市内の中学生951名を対象とした、自転車保険加入事業を実施した。交通安全教室については、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら、市内こども園、小中学校において実施した。なお小学校4校で前記事由により実施できなかった。	・主要道路の交差点には、防犯カメラがほぼ取り付けが完了している状況となっているが、町内の設置にあたり、カメラ代やカメラを取り付ける支柱代が高い。市や県、社協の補助があるが、自治会の負担軽減のため、もう少し補助をお願いできないか。 ・県道などの交通量の多い主要道に街路灯が設置されており、R3年度は31台設置（北条高校～播磨農高の県道）とのことだが、今後も市内主要道路を中心に、設置をお願いしたい。
総合評価	B・・・ほぼ目標を達成	総合評価 B・・・ほぼ目標を達成
㉔ (ア～イ) 評価シート 84～85	■市民相談体制の充実 家族間トラブルや隣人トラブルをはじめ、債務の問題や高齢者の相続、健康問題、野焼き、騒音等まで多岐にわたる相談を受けつけて対応を行っている。 ■消費生活相談体制の充実 消費者相談の件数については減少傾向である。消費者講座については、参加者数が少なくなっているため、講座の内容や方法の検討が必要である。	・市民相談体制の充実に関連して、林道や赤線について、市へ相談に行くと、自治会対応との返答だったが、測量費用が高額なほか、測量期間がかかるため、市の事業で対応できないか。 ・消費者相談を西脇市と連携しているとのことだが、西脇市以外にも隣接している自治体とネットワークを広げて、連携して取り組んでいただきたい。
総合評価	B・・・ほぼ目標を達成	総合評価 B・・・ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数	目標		—	—	—	—	75	回	単年
	実績	57	12						
	達成度		16.0%						
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数									
交通事故発生件数	目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標
	実績	1,466	1262						
	達成度		102.9%						
※ 1/1 ～ 12/31 の交通事故件数									

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	9 快適な都市空間の創出
施策	㉕ 住環境の整備 ㉖ 地球に優しい環境都市の創造

未来の加西の姿

良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉕ (ア～オ) 評価シート 86～92	<ul style="list-style-type: none"> ■住宅地の供給、開発の支援 北条町横尾市有地は、令和3年11月に登記完了。北条西保育所跡地等については、市のHPを活用し情報発信を行い、購入希望者を募っている。西高室土地区画整理事業はR2年度の事業完了後も換地部分も順調に宅地化が進んでいる。商業施設の立地など土地利用が進む中野・下宮木地区では、更なる宅地化を促進するための区画道路4号線の工事に着手した。 ■地域の活力の再生を図る 三木穴粟線沿道について、「工場、店舗等周辺区域 県道三木穴粟線沿道産業集積型」の指定を受けた。また、別府中町、東野田町において「地域活力再生等区域 地縁者小規模事業所型」の指定を受けた。 ■道路拡幅等の住環境整備による定住促進を行った。 総合評価 C…目標をやや下回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家は今後の大きな課題の一つであり、西脇市では条例を制定し、空き家対策を実施している。加西市でも同様の条例を制定済みであり、今後、加西市としても西脇市同様に空き家対策の取組みが必要ではないか。 ・北条旧市街地の古い町並みの維持と狭あい道路の整備のバランスが重要で、三井住友銀行～住吉神社の石畳道路の整備においては車両の交通量が多く、石畳を歩いてもらえるような状況になっていない。雰囲気は良いが、歩いてもらえるような環境整備やしかけが重要。 ・他市と比較すると、加西市のバリアフリー化は遅れているのではないか。 総合評価 C…目標をやや下回って達成
㉖ (ア～ウ) 評価シート 93～96	<ul style="list-style-type: none"> ■地球環境に配慮した循環型かつ脱炭素社会の構築 「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまちかさい」の実現に向けた2050年までの脱炭素シナリオや再エネ導入目標の設定、経営層に向けてのセミナー、市民への補助を実施した。 ■地域と共に生物多様性に育まれた自然環境づくりの推進 人と自然の博物館へのバスツアー、市内6地点の詳細調査、周遍寺野野生生物保護地区で高木等の伐採等を実施した。 ■自然の大切の理解を深めるために 地域の里山で動植物の観察や身近な川や池の水質調査、水辺の生き物調査、豆や綿の栽培や米作りに取り組んだ。網引湿原の見学及び保全活動には、加西市内の多くの小学校（11校中9校）が参加した。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIとして「太陽光発電設備導入量」とあるが、指標としては分かりづらい。太陽光発電の設置により、市内でどれだけでの発電量が賄われて、どこに使われているのかなどがよいのでは。 ・㉙「動植物生態調査実施箇所数」も同様に、分かりやすいものがよい。 ・太陽光発電の設置できる場所（ソーニング）をR4年度に実施検討のうえ、設置してよい場所とそうでない場所とのすみ分けや規制をかけていくため、R5年度に条例制定を予定している。市内で電力の地産地消を目指し、市内で作ったエネルギーについては、市内で消費できるようなことも検討する必要がある。 総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住宅の新築件数	目標		—	—	—	—	90	件	単年
	実績	115	106						
	達成度		118%						
※市内の一戸建て住宅の単年度の新築件数									
市民一人あたり1日のごみ排出量	目標		—	—	—	—	766	g	単年 減少指標
	実績	793	811						
	達成度		94.1%						

※（ごみの処理量+ 集団回収量）÷ 9月末人口÷年間日数